

平成 21 年度 事業計画

基本方針

昨年秋以降の急激な経済環境の変化により当財団の事業活動収入は財産運用の収入減少を余儀なくされました。

この現状に立脚し平成 21 年度の事業運営は財団設立の原点に基づき、身体に障がいを持つ人や高齢者の人が安心して暮らすことの出来る福祉住宅の在り方について調査・研究を進めると共に、福祉関係諸団体の関連諸行事に協賛するなどして、産・官・学の連携を深め、共に暮らし共に生きていけるノーマライゼーションの理念の浸透に積極的に取り組んで参ります。

事業計画

1、 福祉住宅建築主助成金及び福祉小規模集合住宅建築主助成金交付対象者の公募

身体に障がいを持つ人や高齢者が安心して快適に暮らすことの出来る福祉住宅への支援及び地域に融合した高齢者の集合住宅（グループリビング、ケアハウス、グループホーム）等の助成も引き続き行う。

2、 道内福祉事情視察研修

福祉住宅の調査研究を進めるために、道内の該当する住宅や福祉施設、行政機関等を対象に視察を行う。

3、 「おとしよりが楽しく暮らすためのアイデアコンテスト」の実施

全道の小中学生を対象に、おとしよりが楽しく暮らすための家づくりから、部屋づくり、身近な道具など、優しく便利で楽しいアイデアとイメージを絵で募集する。前年に引き続き、社会福祉法人北海道社会福祉協議会及び社会福祉法人札幌市社会福祉協議会と共催し、展示・財団広報誌への掲載などを通して広く道民に趣旨の浸透を図っていく。平成 20 年度は全道の各小中学校から 456 点の応募があった。

4、 情報誌の発行

福祉住宅助成金交付対象実例作品集「ふれあい」を発行。全道各市町村福祉課及び社会福祉協議会並びに関係諸機関に配布する。

5、 広報誌「WITH LIFE (共に生きる)」の発行

住宅及びそれに関連する情報を通して、ノーマライゼーションの理念の啓蒙・普及を目的とした「WITH LIFE (共に生きる)」を発行。全道各市町村福祉課及び社会福祉協議会並びに関係諸機関に配布する。

6、 その他

理事長の指示に基づき、ノーマライゼーション関連諸行事への協力、協賛を行う。

以上